

# 中世神祇講式の文化史

星 優也著  
▼A5判・上製カバー！320頁・定価 六、六〇〇円

2023年3月刊行



中世の仏教儀礼書・神祇講式が地域に伝播し独自に読み解かれ、近世において在地の宗教文化を創り出した。中世神仏信仰と修験、神楽の関係を問い直す書。

## 【目次】

序章 研究史の整理と本書の目的

第一部 『神祇講式』の儀礼世界

第一章 神冥論

『神祇講式』「廻向発願」段をめぐって――

第二章 諸社瑞籬は則ち厳浄仏土なり

『神祇講式』の社壇浄土説――

第三章 大日印文・第六天魔王神話

第二部 『神祇講式』の流布と展開

第四章 解脱上人・神冥・太子伝

第五章 熱田神と魔界廻向

真福寺蔵『熱田講式』をめぐって――

第六章 津軽岩木山縁起の生成

安倍仲満撰『十坊縁起』を読む――

第三部 『神祇講式』と神楽・祭文

第七章 講式から祭文へ

『神祇講秘式』論――

第八章 三輪流神道の神楽

『神祇講式』と『神楽大事』を中心に――

第九章 『神祇講式』と神楽・祭文

――奥三河と南九州――

### ◆著者略歴

星 優也(ほし ゆうや)

一九九一年京都府生まれ。二〇一四年佛敎大学歴史学部歴史文化学科民俗・文化人類学コース卒業。二〇一六年佛敎大学大学院文学研究科仏敎文化専攻修了、二〇一九年佛敎大学大学院文学研究科歴史学専攻博士後期課程修了。博士(文学・佛敎大学)。専門は日本中世宗敎文化史・史学史・民俗学。

学校法人清風学園読書論文指導部非常勤講師、京都府教育庁指導部文化財保護課美術工芸・民俗・無形文化財担当臨時職員を経て、二〇二〇年から学校法人池坊学園池坊短期大学文化芸術学科専任講師・華道文化研究所研究員。主な共編著に『歴史と地域のなかの神楽』(斎藤英喜・八木透共編 法藏館二〇二三年)、近著に『大己貴神・第六天魔王同体説の形成――「虚言ヲ仰ラル、神」説の再検討から』(池坊文化研究)第4号、二〇二二年、『中世神話と歴史学――桜井好朗の神話研究をめぐって』(『新しい歴史学のために』第二九三号、二〇一八年)、『浄土神楽と法性神――蘭牟田神舞「花舞」をめぐって』(『京都市民俗』第35号二〇一七年)など。

終章 本書の成果と課題

初出一覧

あとがき

注文書

(書店印)

ご担当

様冊

法藏館

定価 六、六〇〇円

住所

星 優也著

中世神祇講式の文化史

お電話

お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

歴史